大切なお子様の安全のために正しくお使いください。

おしゃべりカーゴ三輪車 くまのプーさん

取扱説明書

目次

お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

① 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では以下のような内容が「警告」、「注意」として記載されています。

⚠警告 **身体に関する危険**
守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。

注意 **財物や商品本体に関する危険**
守らないと財物や商品本体に損傷の可能性がある。

② 安全上の注意事項

【ご使用のお客様へお願い】

本商品は公園など、屋外での使用を前提に企画されております。人通りの多いところでは、人にぶつかるなど思わぬ怪我の原因となることもありますので十分ご注意ください。店舗などにおけるご使用につきましては、その店舗の運営者にご確認の上、ご使用されるようお願い致します。

●SGマーク制度は三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する保証制度です。
●この商品はSG基準により安定性、走行性、耐荷重、耐衝撃に合格した商品です。
●ご購入日より二年間の対人賠償責任保険がついていますので、安心してお乗りください。
●対象年齢：1.5歳～5歳未満　身長目安：80cm～100cmまで　乗車体重：20kgまで

⚠警告

●初めて乗るお子様は、保護者が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。
●お子様の足は地面およびペダルまたはステップに確実につくことを確認してから使用してください。
●ご使用の際は、必ずお子様に靴を履かせてからご使用ください。裸足で使用すると隙間などで思わぬ怪我をする恐れがあります。
●坂道での使用は避けてください。
●交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。
●2人乗りなどの危ない乗り方は絶対しないでください。
●車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないでください。
●斜面および段差のある場所、転落の恐れのある場所では乗らないでください。
●三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、ペダルを踏み込んだときに転倒することがあるので注意してください。
●お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
●幼児の足がペダルにのっている場合、コントロールバーの操作で無理な力を加えないでください。
●小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。
●業務用・団体用で使用しないでください。
●三輪車以外の目的では使用しないでください。
●コントロールバーで操作する際は過度の荷重をかけたり、急な操作はしないでください。
●コントロールバーとステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになりましたら必ずコントロールバーとステップは取り外してください。
●幼児、子供にコントロールバーを操作させないでください。
●コントロールバーの操作は必ず保護者が行い、幼児の足が巻き込まれないように注意してください。
●コントロールバーを付けた状態で使用するときは、必ずステップを使用し、ロック&フリー機能をフリーの状態にしてください。
●お子様がサドルに立ち上がらないように注意してください。また、コントロールバーに寄りかかると倒れる恐れがありますので十分に注意してください。
●コントロールバーに物をかけたりすると倒れる恐れがあるので、物をかけないでください。
●カゴの取り外しは保護者が行ってください。手を挟む恐れがあります。十分気を付けて取り外しを行ってください。
●カゴを後ろから押して遊ばないでください。カゴが変形する原因になります。
●カゴにペット（犬・猫など）や生き物を入れないでください。
●カゴにお子様を乗せたり、重いものを入れないでください（制限重量8kg以下）。破損による怪我の恐れがあり大変危険です。

《乾電池を誤使用すると発熱、破損、液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。》

●充電池（ニカドなど）およびニッケル系乾電池（オキシライド乾電池など）は使用しないでください。
●古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使用しないでください。
●長時間使用しないときは必ずスイッチを切り、電池を外してください。
●+－（プラスマイナス）を正しくセットしてください。
●電池をショートさせたり、充電、分解、加熱したり、火の中に入れないでください。
●万一、電池から漏れた液が目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い医師に相談してください。皮膚や、服に着いたときは水で洗ってください。

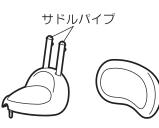
注意

●使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障および破損したまま使用しないでください。
●長い間の使用でネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。
●屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
●火気のある所、高温の場所には近づけないでください。
●砂場や水たまりで使用しないでください。

※本書には上記以外にも各操作に応じた「警告」、「注意」が表記してありますので、そちらもお読みください。

③ 梱包内容

フレーム：1

前輪付きハンドル：1

サドル：1

背もたれ：1

コントロール
バー㊦：1

コントロール
バー㊤：1

ステップ：1

ステップ
取り付け部品：1

安心ガード右 / 左：各1

シャフト付き後輪：1

後輪：1

ブザー：1

前バスケット：1

カゴ：1

カゴフレーム
パイプ：1

取扱説明書：1

袋入り

ステップ
ホルダー：1

ホイールキャップ：1

フック：1

角根ネジ長
（55mm）：4

角根ネジ短
（35mm）：1

ハンドル
ストッパー：1

ノブナット：8

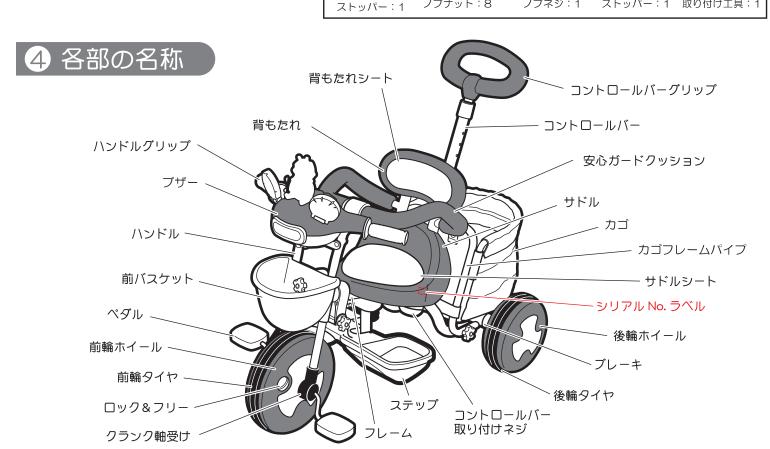
ノブネジ：1

ストッパー：1

取り付け工具：1

④ 各部の名称

背もたれシート
コントロールバーグリップ
背もたれ
コントロールバー
ハンドルグリップ
安心ガードクッション
ブザー
サドル
ハンドル
カゴ
カゴフレームパイプ
前バスケット
サドルシート
シリアル No. ラベル
ペダル
後輪ホイール
前輪ホイール
ブレーキ
前輪タイヤ
後輪タイヤ
ロック&フリー
ステップ
コントロールバー
取り付けネジ
クランク軸受け
フレーム

【材質】

フレーム：スチール	ステップ：ポリプロピレン(PP)
ハンドル：スチール	サドルシート：塩化ビニール(PVC)
コントロールバー：スチール	背もたれシート：塩化ビニール(PVC)
安心ガード：スチール	前 / 後輪タイヤ：塩化ビニール(PVC)
コントロールバーグリップ：ポリプロピレン(PP)	ハンドルグリップ：塩化ビニール(PVC)
前バスケット：ポリプロピレン(PP)	安心ガードクッション：ポリウレタン(PU)
サドル：ポリプロピレン(PP)	ブザー：ABS/ ポリプロピレン(PP)
前 / 後輪ホイール：ポリプロピレン(PP)	カゴ：ポリエステル / ナイロン
背もたれ：ポリプロピレン(PP)	

●ネジの種類の確認

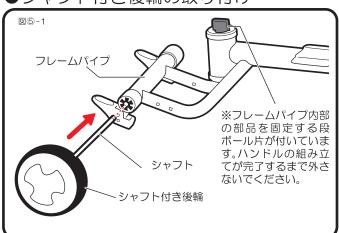
・ネジは 2 種類あります。右図は原寸のイラストと使用箇所の記載です。確認のためにご使用ください。

【原寸イラスト】

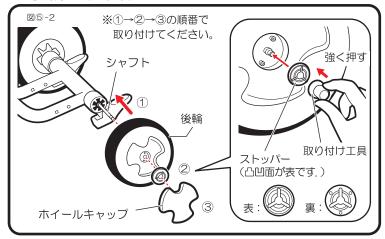
角根ネジ長(55mm):4 本
- ・P4【サドルパイプの取り付け】
- ・P4【ステップの取り付け】
- ・P6【カゴフレームパイプの取り付け方法】
- ・P6【ステップの高さ調節方法】
- ・P8【ステップの取り外し方法】
- ・P8【カゴの取り外し方法】

角根ネジ短(35mm):1 本
- ・P4【ステップの取り付け】
- ・P6【ステップの高さ調節方法】
- ・P8【ステップの取り外し方法】

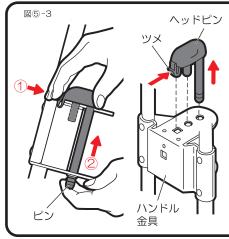
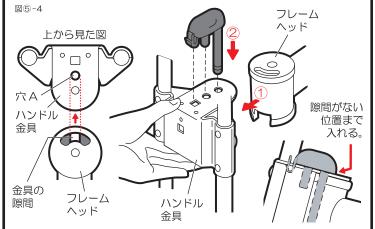
⑤組み立て方法

●シャフト付き後輪の取り付け

・シャフトをフレームパイプに通します。

注 意
●ストッパー取り付け後、後輪を引っ張り、フレームから外れないことを確認してください。
●ストッパーは、一度取り付けると外すことができませんのでご注意ください。

●後輪の取り付け

①シャフトに後輪を通します。
②取り付け工具を使用してストッパーで固定します(取り付け工具はストッパーを固定したら不要となりますので、ホイールキャップの中には入れないでください)。
③後輪取り付け確認後、ホイールキャップをはめ込みます。

●ハンドルの取り付け

図⑤-5

1cm くらい
出ている。

ハンドル
ストッパー

・ハンドルを取り付ける前に、ハンドル金具に付いているヘッドピンを取り外します。
・ヘッドピンのツメを矢印①の方向に押しながら、ハンドル金具の下部分から出ているピンの先端を矢印②の方向に押し上げ、引き抜いてください。

・ハンドル金具にフレームヘッドを矢印①の方向に入れます。
・フレームヘッドの長い穴から見える金具の隙間とハンドル金具の穴 A が合うように入れてください。金具の隙間と穴 A がズレているとヘッドピンが根元まで入りません。
・ハンドル金具の穴に矢印②の方向でヘッドピンを入れます。その際ハンドル金具の下部分を支えながら差し込みます。下部分を支えないで組み立てようとすると、ハンドル金具が曲がる恐れがあります。
・ハンドル金具の上面とヘッドピンに隙間がない位置まで、ヘッドピンが入っているか確認してください。

・ハンドル金具下からヘッドピンの先端が 1 cm くらい出ていることを確認してください。
・ピン先端の溝にハンドルストッパーを取り付けます。

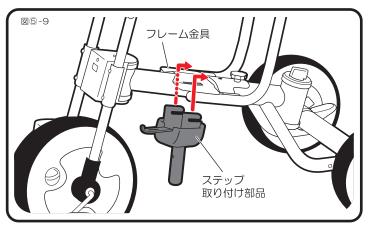
●ハンドル金具の下からヘッドピンの先端が 1cm くらい出ていない場合は正常な組み立てではありませんのでご注意ください。
●ヘッドピンを完全に差し込まない状態で上から無理な力を加えないでください。ハンドル金具が変形して、ヘッドピンが固定できなくなります。

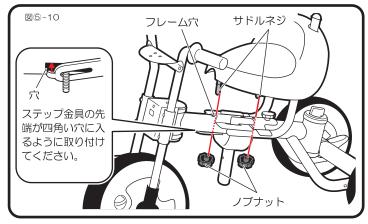
●サドルパイプの取り付け

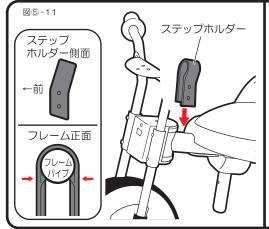
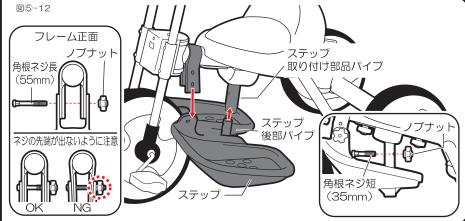
・サドルをサドルパイプから引き上げて、図のようにしてください。

・サドルパイプの先端がフレーム金具の下になるように置いてください。

・フレーム角穴から角根ネジ長（55mm）を入れ、ネジ先端がサドル金具の穴から出たらノブナットで強く締めつけてください。

●ステップ取り付け部品の取り付け

・ステップ取り付け部品の先端をフレーム金具の穴に入れ、後ろへずらして引っかけてください。

●サドルの固定

・サドルを押し下げ、サドルネジをフレーム穴に貫通させてください。
・フレーム下からネジ先端が出たらノブナットで固定してください。

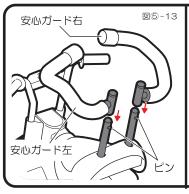
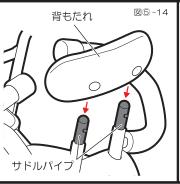
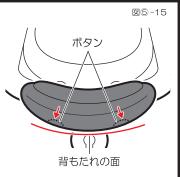
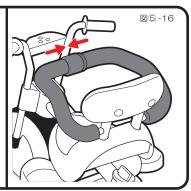
●ステップの取り付け

・ステップホルダーをフレームパイプに差し込みます（前後注意）。

・ステップホルダーをステップ前部の内側へ、ステップ後部パイプをステップ取り付け部品パイプへ同時に差し込みます。
・ステップ前部を角根ネジ長（55mm）とノブナットで締め付けます。ネジの先端がノブナットの表面から出ないように注意してください。
・ステップ取り付け部品パイプを角根ネジ短(35mm)とノブナットで締め付けて固定します。

必ず確認してください。

ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック＆フリー機能をフリーにしてください。
※ロック＆フリー機能については 9 ページ【ロック＆フリーの取り扱い】を参照してください。

注意

●ステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになったら必ず外してください。
●ステップの上に立たないでください。ステップは乗り降りするときの踏み台にしないでください。
●ステップ、サドルの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

●背もたれ、安心ガードの取り付け

・サドルパイプのピンを押しながら左右の安心ガードを差し込んでください。

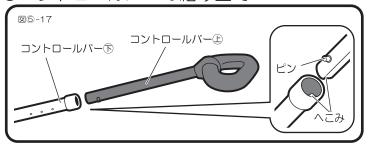
・背もたれをサドルパイプに強く押し込み、取り付けてください。

・後ろのボタンが背もたれの面と同じ位置まで出ていることを確認した後、背もたれを持って本体を持ち上げても外れないことを確認してください。

・安心ガードを閉じてください（安心ガードの閉じ方の詳細は７ページ【安心ガードの開閉／取り外し方法】を参照してください）。

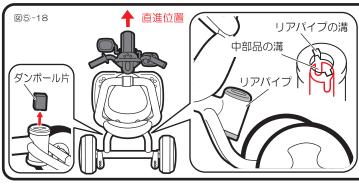
注意

●安心ガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。
●安心ガードの開閉時に無理な力をかけないでください。
●安心ガードを使用する際は手や指を挟まないように注意してください。
●安心ガードの開閉は保護者が行ってください。

●コントロールバーの組み立て

・コントロールバー㊤のピンを押しながら、コントロールバー㊦に差し込んでください。その際、パイプのへこみ方向を合わせるようにしてください。

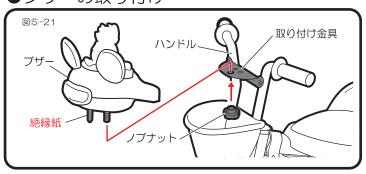
●コントロールバーの取り付け

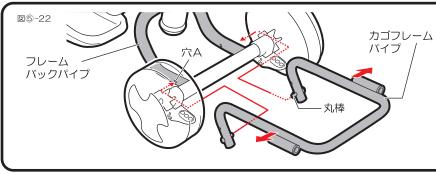
取り付けネジを締めていると、途中でネジがきつくなる場合があります。きつくなったときは、下から取り付けネジをたたき、リアパイプに取り付けネジをはめると、最後までネジを締め付けやすくなります。

・フレームパイプ内部の部品を固定するダンボール片を引き抜き、ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、リアパイプの溝と中部品の溝が合っていることを確認してください。溝がズレているとコントロールバーが入りませんのでご注意ください（ハンドルと中部品は連動して動きますので、中部品の溝がズレているときはハンドルを動かしてください）。

・図のような向きでコントロールバーをリアパイプに差し込み、コントロールバー取り付けネジで締め付け固定してください。コントロールバー取り付けネジがリアパイプにしっかりはまったことを確認してください（ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーはリアパイプに挿入できません）。

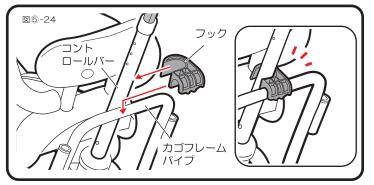
●前バスケットの取り付け

・前バスケット裏のツメをハンドル金具の穴に入れ、引っ掛けます。
・ノブネジでバスケットを固定してください。

●ブザーの取り付け

・ブザー底面のネジを取り付け金具の穴に差し込みノブナットで固定してください（ご使用前に絶縁紙を引き抜いてください）。

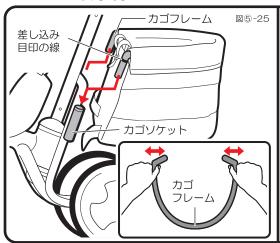
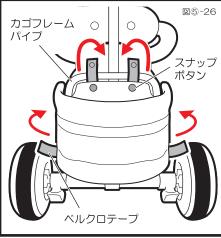
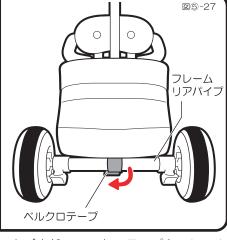
●カゴフレームパイプの取り付け

・カゴフレームパイプ先端の左右の丸棒をフレームバックパイプ下側の穴Aに、矢印の方向へ広げながら差し込みます。

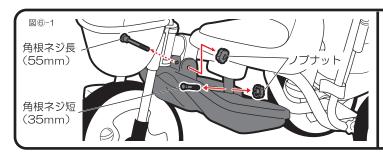
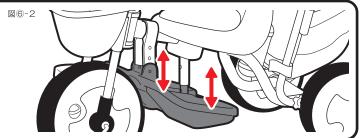
・カゴフレームパイプを前方へ起こして、角根ネジ長（55mm）２本を左右の穴Bに通し、ノブナット２個で固定します。

●フックの取り付け

・コントロールバーとカゴフレームパイプにフックを取り付けてください。

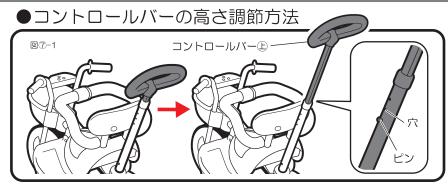
注 意

●カゴの取り付けは保護者が行ってください。指や手を挟む恐れがあります。
●カゴにお子様を乗せたり、重いものを入れないでください（制限重量 8kg 以下）。破損の恐れがあり大変危険です。
●カゴに鋭利なものを入れないでください。カゴ布部分が破れる恐れがあります。

●カゴの取り付け

・カゴフレームの先端を左右 ２ヵ所のカゴソケットの幅に合わせて差し込んでください。このとき、カゴフレームの差し込み目印の線が隠れるまでしっかりとカゴソケットに差し込んでください。

・カゴ上部の ２ヵ所のスナップボタンをカゴフレームパイプに巻きつけて固定してください。
・カゴ両脇の ２ヵ所のベルクロテープをカゴフレームパイプに巻きつけてしっかりと固定してください。

・カゴ底部のベルクロテープをフレームリアパイプに巻きつけてしっかりと固定してください。

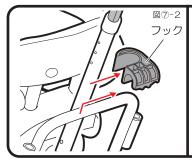
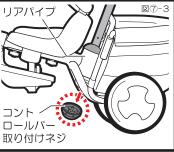
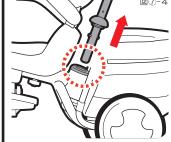
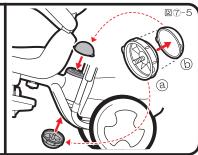
⑥ ステップの高さ調節方法

・ステップを固定している２カ所のノブナットをゆるめ、ネジを抜きます。

・ステップを上下させステップ前部、ステップ取り付け部品パイプのそれぞれの穴を合わせネジを差し込みノブナットで固定してください（ステップの取り付けの詳細は ４ ページ【ステップの取り付け】を参照してください）。

⑦ コントロールバーの調節/取り外し方法

●コントロールバーの高さ調節方法

・コントロールバーの横穴から出ているピンを押しながらコントロールバー㊤を上下させ、お好みの高さに調節してください。
・他の高さの穴からピンが飛び出るまでスライドさせてください。

注 意

●ピンが穴から飛び出ていることを確認の上、使用してください。ピンが出ていないと、使用中にコントロールバー㊤が抜けてしまう可能性があります。
●コントロールバーをご使用の際は、前輪をフリー状態（9ページ【ロック＆フリーの取り扱い】を参照してください）。
●コントロールバーに物をかけたりすると倒れる恐れがあるので、物をかけないでください。
●段差のある場所でのご使用は避けてください。また、壁などにぶつけないでください。

●コントロールバーの取り外し方法

・フックを取り外してください。

・コントロールバー取り付けネジをリアパイプから外してください。

・ハンドルを直進位置（左右に曲げない)にして、コントロールバーをリアパイプから引き抜きます。ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーは抜けません。

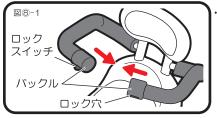
・コントロールバー取り付けネジをⓐとⓑに分離し、ⓐはリアパイプの下に、ⓑはリアパイプの上に取り付けてください。

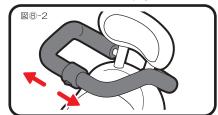
●コントロールバーを外した後は必ずⓐⓑ部品を取り付けてからご使用ください。ⓐⓑ部品を取り付けずに使用すると怪我をする恐れがあります。

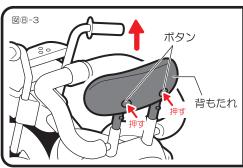
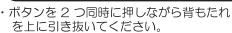
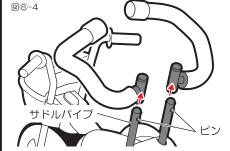
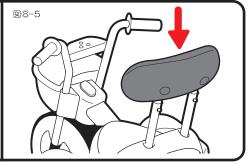
注 意

●ⓐⓑ部品の取り付け、取り外しは保護者が行ってください。
●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。部品をふりまわすなどして思わぬ怪我の原因になります。また小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。

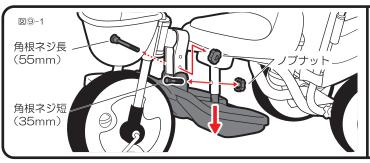
⑧ 安心ガードの開閉/取り外し方法

●安心ガードを閉める

・安心ガードの左右のバックルが三輪車の中心で重なるように合わせてください。バックルが重なるとロックスイッチがロック穴から出てロックがかかります。

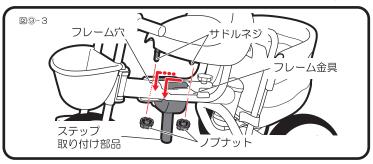
●安心ガードを開ける

・ロックスイッチを押しながらバックルを左右に開いてください。ロックが解除され、安心ガードを開くことができます。

・ボタンを2つ同時に押しながら背もたれを上に引き抜いてください。

・安心ガードを開いた状態で、サドルパイプのピンを押しながら左右の安心ガードを取り外してください。

・背もたれを再度取り付けてください（5ページ【背もたれ、安心ガードの取り付け】を参照してください）。

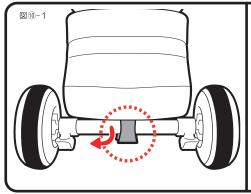
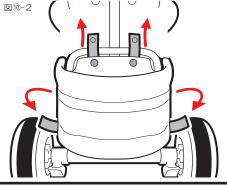
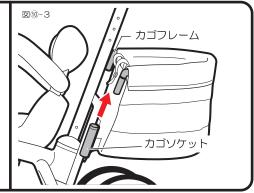
●背もたれを外したまま使用しないでください。
●子供を乗せたまま背もたれやハンドルを持って、車体を持ち上げないでください。

⑨ ステップの取り外し方法

・ステップを固定している２カ所のノブナットをゆるめ、ネジを抜き、矢印の方向にステップをずらしながら取り外します。

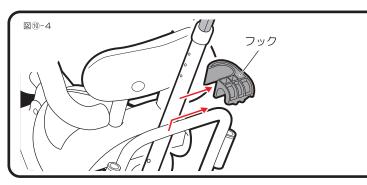
・ステップホルダーを取り外します。

・サドルネジからノブナットを外し、ステップ取り付け部品を外します。
・ステップ取り付け部品を傾け、前方へスライドさせ取り外します。
・ノブナットを再度サドルネジに取り付けます。

注 意

●ステップの取り外しは保護者が行ってください。
●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。小さな部品はお子様が誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。
●サドルの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

⑩ カゴの取り外し方法

・カゴ底部のベルクロテープをフレームリアパイプから取り外します。

・カゴ両脇の ２ヵ所のベルクロテープをカゴフレームパイプから取り外します。
・カゴ上部の ２ヵ所のスナップボタンをカゴフレームパイプから取り外します。

・カゴソケットからカゴフレームを抜きます。

・フックを外します。

図⑩-5
カゴフレーム
パイプ
ノブナット

・ノブナットを外し、ネジを抜きます。
・カゴフレームパイプを矢印の方向へ広げて取り外します。

警告

●取り外した部品はお子様の手の届かないところに保管してください。

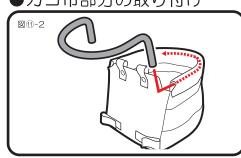
注 意

●カゴの取り外しは保護者が行ってください。
●カゴソケットにお子様が指を挟む恐れがありますので、カゴを使用しない場合はカゴフレームパイプも必ず本体から取り外してください。

⑪ カゴ布部分の取り外し/取り付け方法

●カゴ布部分の取り外し

・カゴ布部分をカゴフレームから抜き取ります。

●カゴ布部分の取り付け

・カゴフレームをカゴ布のフレーム通し部分に矢印の方向へ入れます（このときカゴフレームの向きに注意してください）。

注 意

●カゴの取り外しは保護者が行ってください。
●カゴ布部分は洗うことができます。洗濯の際は右の項目を参照してください。
●カゴに鋭利なものを入れないでください。カゴ布部分が破れる恐れがあります。
●取り外した部品はお子様の手の届かないところに保管してください。
●このカゴは「おしゃべりカーゴ三輪車くまのプーさん」専用です。他の用途には使用しないでください。
●このカゴの品質保証は本体保証書に則します。お客様の不注意による破損や洗濯による色落ちなどは保証の対象外となります。

●型くずれを防ぐため、やさしく手洗いしてください。染料が色落ちする場合がありますので他のものと一緒に洗わないでください。また長時間の付け置きもしないでください。

●洗った後はしぼらないでください。タオルなどに押し付けて水気を取り除いてください。

●水気を取り除いた後、型を整えて日陰で平干しし、十分に乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。

●漂白剤や入浴剤の入った水は使用しないでください。

●アイロンがけはしないでください。

●ドライクリーニングはしないでください。

⑫ ロック＆フリーの取り扱い

●ロック状態

・お子様がペダルをこいで使用する場合は『つまみ』の▲印をLOCK（ロック）に合わせてください。

つまみをロックにすると・・・
前輪とペダルが連動します。お子様自身がペダルをこいでご使用になる場合はこの状態にしてください。

●フリー状態

・保護者がコントロールバーで押す場合は『つまみ』の▲印をFREE（フリー）に合わせてください。

つまみをフリーにすると・・・
前輪とペダルが連動しません。保護者がコントロールバーの操作を行ってもお子様の足を巻き込むことはありません。

フリー機能の説明

フリーにしても前輪とペダルが一緒に回転する場合がありますが、ペダルを手でおさえた状態で前輪が回転すれば異常ではありません。フリー機能はペダルがステップなどにあたっても三輪車が不意に止まってしまったり、お子様がペダルとステップの間に、万が一足を挟んでも怪我をしないようにするための機能です。

必ず確認してください。

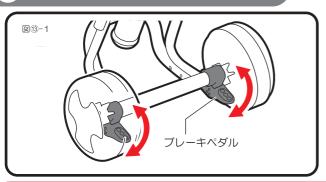
●ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のロック ＆ フリー機能をフリーにしてください。ロックにしたまま使用するとペダルがステップにあたり、ステップが破損する恐れがあります。

⚠警告

●ロックの状態でコントロールバーの操作はしないでください。お子様の足を巻き込む恐れがあります。
●お子様が三輪車に乗った状態でのロック＆フリーの切り替えは危険です。お子様を三輪車から降ろして、切り替え操作を行ってください。
●坂道での使用は三輪車が自然に動き出すことがあるので避けてください。

注 意

●ロック＆フリーの切り替えは、保護者が行ってください。
●ご使用になる前は、必ずロック、フリーの確認を行ってください。
●水たまりでの使用や雨ざらしでの保管は避けてください。前輪に水がたまる場合があり、故障の原因になります。

⑬ ブレーキの取り扱い

・ブレーキをかけたいときは左右のブレーキペダルを下げてください。
・ブレーキを解除したいときは左右のブレーキペダルを上げてください。

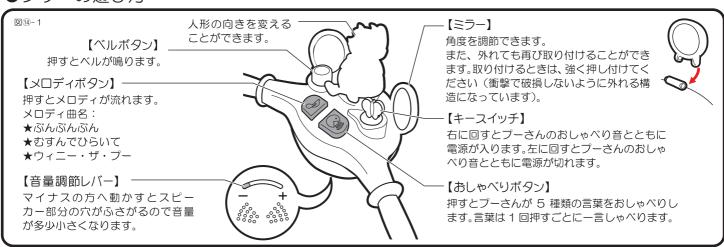
⚠警告

●三輪車の走行中にブレーキをかけないでください。転倒や故障の原因になります。ブレーキの操作は必ず停止した状態で行ってください。
●お子様を三輪車に乗せたときはブレーキを過信しないでください。ブレーキをかけても動き出す恐れがあります。
●ブレーキを操作する際は必ず左右のペダルを同じように操作してください。左右が揃っていないと正常に動作しません。

注 意

●ブレーキペダルの上げ下げは保護者が行ってください。
●三輪車を動かす前に必ず、ブレーキが解除されていることを確認してください。ブレーキをかけたまま走行すると故障の原因になります。

⑭ ブザーの取り扱い

●ブザーの遊び方

・キースイッチ・おしゃべりボタン・メロディーボタン・ベルボタンで遊べます。（電源を入れてから 5 分間何も操作をしないと、一時的に電源が切れます。どれかボタンを押すと再度電源が入ります。しばらく使用しない場合はキースイッチを左へ回して電源を切ってください。）

●電池の交換

・カバー取り付けネジをプラスドライバーでゆるめます（カバー取り付けネジは、電池カバーから外れません）。
・単三電池２本を交換してください。

注 意

●ネジやワッシャーなど小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。また、小さな部品の紛失にご注意ください。
●ブザー本体が確実に固定されていることを確かめてください。
●ブザー本体及びスイッチ・ボタン類は水に濡らさないでください。故障の原因になります。
●充電池（ニカドなど）およびニッケル系乾電池（オキシライド乾電池など）は使用しないでください。
●電池が減った状態で使用していると、音が鳴りにくくなったり、途中で途切れることがあります。早めに電池を交換してください。
●寿命の尽きた電池をブザーに入れたままにしないでください。液もれなどにより故障の原因となります。
●カバー取り付けネジはカバーから外れない構造になっていますが、万が一分離した場合はネジの紛失や誤飲にご注意ください。